

## 平成 29 年度自主研修会で活発に意見交換 《丹後地区》

- 新しい年度に入り今年も丹後地区の行政相談委員協議会は、委員独自の自主研修会を去る 7 月 26 日（水）京丹後市において開催しました。

日 時 平成 29 年 7 月 26 日（水） 午後 1 時 30 分～午後 4 時  
場 所 京丹後市峰山地域公民館  
参 加 者 京都行政評価事務所（菊地所長、柳木相談課長、藤山相談官、吉留係長）  
丹後地区行政相談委員（11 名全員）

- 今年の夏は空梅雨傾向から一転、全国的に豪雨による浸水、土砂災害が多く発生しました。福岡県をはじめ九州地方、又、秋田、新潟県等々災害に遭遇された多くの皆様方にお見舞い申し上げます。幸い、当、丹後地域は幾度かの大雨警報が出されてはいたものの、大きな被害も少なく、自主研修会当日は例年の猛暑と異なり、適度な気温下で開催することが出来ました。

丹後地域では、委員 11 名中 4 名の委員が新たに委嘱されました。今回の研修では全委員出席のもと、中村丹後地区会長の挨拶、地元京丹後市の上田市民環境部長の歓迎挨拶をいただきました。



挨拶される中村丹後地区会長



挨拶される上田京丹後市民環境部長

- 最初に、菊地所長より「行政相談委員に寄せる期待」と題して講演を頂きました。「相談委員制度発足以来 55 年の現在、委員は身近におられる相談しやすい民間人としての存在は大きい。」「国においては、この制度が更に発展していく為に種々の課題について見直し検討がなされている。」「委員は、相談所での対応だけでなく行政懇談会、出前教室等、国民の意見を聞いたり 4 条意見を国に提案してほしい」「京都府内委員活動の特徴として、・委員一人当たりの相談処理件数 ・委員意見の国提出数 ・出前教室開催数 ・委員 HP 開設・・等は全国的に誇れる活動」とデータをお話頂きました。



講師の菊地京都行政評価事務所長



研修の様子

○ 次に、各委員から新委員への活動アドバイスとして、今日までの相談活動での良かった事、反省点、相談者の信頼を得る取り組みなどの意見交換を行いました。

更に、委員が今日まで取り組んだ「委員意見書・4条意見」の国提出に関して改善があった事の報告や、この一年間、実際に受けた相談事例を出しあっての意見交換をする中で、一番大事な点は「ゆっくり聞いてあげる・・・問題点を見つけて関係行政機関につなげる」ということを研修しました。

最後に、京都行政相談委員協議会の取り組んでいるホームページへの関心や、丹後らしいローカル記事の投稿への協力をお願いして終了しました。



意見交換の様子



閉会の挨拶をされる戸石丹後地区副会長

平成 29 年 7 月 27 日

(丹後地区協 HP 委員 吉岡秀巳)